



2019年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年12月14日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東
 コード番号 3441 URL http://www.sanno.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241
 四半期報告書提出予定日 2018年12月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年7月期第1四半期の連結業績 (2018年8月1日～2018年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第1四半期	2,000	△0.7	△5	—	△21	—	△33	—
2018年7月期第1四半期	2,014	11.7	44	△0.2	41	4.0	35	11.7

(注) 包括利益 2019年7月期第1四半期 △53百万円 (—%) 2018年7月期第1四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第1四半期	△7.21	—
2018年7月期第1四半期	7.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年7月期第1四半期	9,818	4,927	50.2	1,067.51
2018年7月期	9,728	4,981	51.2	1,079.12

(参考) 自己資本 2019年7月期第1四半期 4,927百万円 2018年7月期 4,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年7月期	—	—	—	—	—
2019年7月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年7月期の連結業績予想 (2018年8月1日～2019年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,100	△0.8	30	△71.5	10	△88.5	5	△93.2	1.08
通期	8,500	1.4	180	39.3	140	64.4	130	195.4	28.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年7月期1Q	5,000,000株	2018年7月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2019年7月期1Q	384,050株	2018年7月期	384,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年7月期1Q	4,615,950株	2018年7月期1Q	4,615,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済におきましては、米国経済は米中貿易摩擦の影響が懸念される状況にあるものの、底堅い個人消費を背景に堅調な景気拡大が続いている状況にあります。また欧州経済についても、英国のEU離脱問題等の政治リスクはあるものの、雇用・所得環境の改善の持続や好調な企業収益を受け、個人消費・設備投資ともに堅調に推移しております。

新興国経済におきましては、米国との貿易摩擦本格化を受け、中国では減速懸念が広がりつつありますが、その他の新興国経済では良好な雇用・所得環境を背景に安定した成長が見られました。

わが国経済におきましては、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が見込まれる等個人消費にも持ち直しが見られており、設備投資も改善傾向にあることから、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦に代表されるような海外に起因する不透明感が強まっている状況にあります。

当社グループが属する電子工業界におきましては、自動車部品の電子化に伴い車載向け市場での部品需要は拡大しているものの、スマートフォンの減産や産業機器分野での生産調整の影響を受け受注が低迷する等、総じて厳しい事業環境にありました。

このような状況のもとで当社グループは、成長する市場・製品及び未開拓市場の拡販、品質管理手法の向上、生産能力・生産性強化、海外子会社を含めた一体経営の推進及び新規事業の創出を重点課題に掲げ、その実現に向けて取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,000百万円（前年同期比0.7%減）となりました。また営業損失は5百万円（前年同期は営業利益44百万円）、経常損失は21百万円（前年同期は経常利益41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は33百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円）となりました。

なお、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当第1四半期連結累計期間は、スマートフォンの減産や産業機器分野での生産調整の影響により受注環境が悪化する中で、新製品獲得に向けた設備投資を実施することで減価償却負担も増加しており、経費削減等の収益改善施策を実施いたしましたが、売上高の減少を補うには至りませんでした。

この結果、売上高は1,178百万円（前年同期比11.4%減）、営業損失は95百万円（前年同期は営業利益36百万円）となりました。

② 中国

当第1四半期連結累計期間は、中国での環境規制強化により日本品質への評価が高まっている状況を受け、積極的な営業活動を展開してきたことから、前年同期を大幅に上回る売上高を達成することが出来、営業黒字を達成することが出来ました。

この結果、売上高は461百万円（前年同期比25.8%増）、営業利益は48百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

③ フィリピン

当第1四半期連結累計期間は、車載向け製品を中心に部品需要は堅調に推移しており、前年同期において収益性の悪化要因になっていた歩留りについても改善が進んだことから、営業黒字を達成することが出来ました。

この結果、売上高は362百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は16百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が213百万円、投資有価証券が76百万円減少したものの、現金預金が387百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ90百万円増加し9,818百万円となりました（前連結会計年度末は9,728百万円）。

負債は、短期借入金が365百万円減少したものの、長期借入金が521百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ144百万円増加し、4,891百万円となりました（前連結会計年度末は4,747百万円）。

純資産はその他有価証券評価差額金が減少したこと等から、前連結会計年度末と比べ53百万円減少し、4,927百万円となりました。この結果、自己資本比率は50.2%となり、前連結会計年度末と概ね同等水準となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年9月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,838,600	3,226,427
受取手形及び売掛金	2,365,365	2,152,261
製品	116,209	146,942
原材料及び貯蔵品	1,299,966	1,286,660
その他	203,279	185,765
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	6,823,171	6,997,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	143,049	141,530
機械装置及び運搬具（純額）	404,798	394,880
土地	1,289,972	1,289,972
リース資産（純額）	180,071	160,853
建設仮勘定	30,432	52,593
その他（純額）	161,935	160,098
有形固定資産合計	2,210,259	2,199,928
無形固定資産	24,588	23,743
投資その他の資産		
投資有価証券	516,292	439,335
その他	155,080	158,974
貸倒引当金	△1,184	△1,184
投資その他の資産合計	670,188	597,125
固定資産合計	2,905,035	2,820,797
資産合計	9,728,207	9,818,604

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	335,065	338,933
短期借入金	1,516,510	1,150,530
1年内返済予定の長期借入金	374,008	521,203
リース債務	63,404	50,398
未払法人税等	22,284	16,577
その他	576,465	468,761
流動負債合計	2,887,740	2,546,404
固定負債		
長期借入金	1,258,380	1,780,176
リース債務	180,321	170,427
退職給付に係る負債	213,962	209,025
繰延税金負債	71,376	50,132
その他	135,238	134,880
固定負債合計	1,859,280	2,344,641
負債合計	4,747,020	4,891,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	2,578,604	2,545,304
自己株式	△125,103	△125,103
株主資本合計	4,286,320	4,253,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,137	116,656
為替換算調整勘定	514,830	554,000
退職給付に係る調整累計額	3,897	3,881
その他の包括利益累計額合計	694,866	674,537
純資産合計	4,981,186	4,927,558
負債純資産合計	9,728,207	9,818,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2017年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)
売上高	2,014,083	2,000,955
売上原価	1,610,065	1,642,186
売上総利益	404,018	358,769
販売費及び一般管理費	359,982	364,606
営業利益又は営業損失(△)	44,035	△5,836
営業外収益		
受取利息	3,067	3,506
為替差益	9,837	-
その他	7,705	6,683
営業外収益合計	20,609	10,190
営業外費用		
支払利息	9,317	11,355
支払手数料	9,950	6,151
為替差損	-	6,826
その他	4,099	1,234
営業外費用合計	23,367	25,567
経常利益又は経常損失(△)	41,278	△21,214
特別損失		
固定資産除却損	-	4,916
特別損失合計	-	4,916
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	41,278	△26,131
法人税、住民税及び事業税	6,254	7,869
法人税等調整額	△771	△701
法人税等合計	5,483	7,168
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,794	△33,299
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	35,794	△33,299

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2017年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,794	△33,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,402	△59,481
為替換算調整勘定	△222	39,169
退職給付に係る調整額	11	△16
その他の包括利益合計	65,192	△20,328
四半期包括利益	100,986	△53,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,986	△53,628

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に計上しております。